



発行/富山市PTA連絡協議会

編集/良書をすすめる会

低学年におすすめ

気持ちがあつたかくなるよ!

『ほくがげんきにしてあげる』

ヤーノシユ 作・絵

石川 素子 訳

どんな時でも、友だちを大切にしなければいけないよって教えてくれる本。

(徳間書店 本体1,600円)



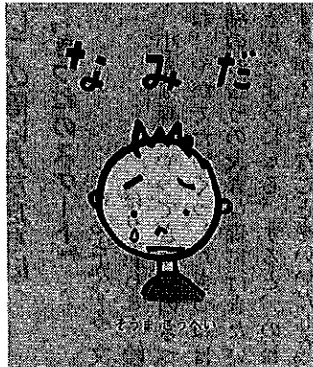
やさしい親子の小さな絵本

『なみだ』

そうまこうへい 作・絵

あたり前の話、でもドキッとする。子どもって正直で素直、ずーと忘れないでそのやさしい気持ち...ほかに「かせ」「おとうさん」などがある。

(フレーベル館 本体825円)



どうしよう!!ぼうしがぬげない

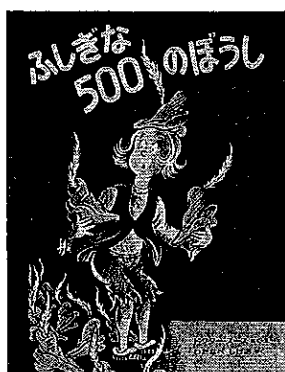
『ふしぎな500のぼうし』

ドクター・スース 作・絵

わたなべしげお 訳

王さまのまえで、ぼうしをとっても、つぎからつぎとぼうしが出てくる。だれか、ぼうしをとって//ぼうしのぬげない子どもうんめいはいかに...。

(偕成社 本体2,200円)



とまがし「いネ」のお話

『長くつをはいたネコ』

マーシャンラウン 絵

財産のわずかなわけまえ、それはネコ。「袋を一つと長くつを一足作って下さい。」とのネコの話に小さな期待を...

(岩波書店 本体1,500円)



つよい味方だよ!

『あなぐまモンタン』

茂市久美子 作

中村 悦子 絵

森のせんたくやさんは、こまった時にやさしくたすけてくれる。本当にこんなせんたくやさんがいてくれたらいいな。

(学習研究社 本体1,200円)



大切にしてい！大好きなもの

『ジミーとジャネット、ふたりはふたご』

B・クリアー 作

いとしいしげさと 訳

やまわきゆりこ 絵

本物が大好きなジミーと空想するのが大好きなジャネットはふたご。でも...ちがう。それぞれ好きなものがあるって、すばらしい。

(あかね書房 本体980円)



中学年におすすめ

てがみをもらったおへんじかいた

『おてがみもらったおへんじかいた』

森山 京作
広瀬 弦訳

クマの子とウサギのおばあさんの間に交わされる手紙をめぐるおはなし。やさしい言葉のやりとりで、心があたたくなる本。誰かに手紙をだしてみたくなるかも。

(あかね書房 本体1,068円)



ただの石つるじやない!

『石のねずみ ストーンマウス』

ジュニー・ニモ作
安藤 紀子訳

石のねずみストーンマウスは、エリーと仲良しになるが、エリーの兄テッドはマウスを海の中へ放ってしまう。「たすけて!」もの石ころにもどるのはいやだ!

(積成社 本体1,000円)



いつの間にか友だちは

『きつねのスケート』

ゆもとかずみ文
ほりかわりまこ 絵

小さな森にやってきた旅のきつね。やがてたいくつしたきつねは湖のむこうの大きな森に行きたいと思うようになる。すると、のねずみがふしぎなことをいじらした。

(徳間書店 本体1,600円)



ワクワクするような冒険の連続

『ボックスカーの家』

ガートルード・ウォーナー作
中村 妙子訳

みなし子になった四人きょうだいは、森の中の赤い貨車の中で生活を始める。アイディアいっぱい、の愉快な生活に、読み手もはらはらドキドキの冒険の仲間入り。

(朔北社 本体1,300円)



インテリオウムにびっくり

『ハリーのひみつのおウム』

ディック・キンクスミス作
三村美智子訳

大叔父の遺言でハリーのところにやってきたオウムは、文字も読めるインテリだった。ある日、そのオウムが誘拐されて…。コミカルでテンポがよく、楽しめる。

(講談社 本体1,262円)



高学年におすすめ

古い館にまつわる謎とは?

『まぼろしの白馬』

エリザベス・グージ作
石井 桃子訳

少女マリアがひきとられたイングラントの古城は、何やら謎めいている。マリアの勇気と機知が、まぼろしの白馬と共に、周囲の大人たちを変えていく。

(岩波書店 本体700円)



母をなくした三兄弟

『わんぱくきょうだい大作戦』

マヤ・ヴォイチェホフスカ作
清水真砂子訳

妻をなくした父と三人の幼い息子たちの物語。母親の存在の大きさを思い知らされた三人は、母親のような人が欲しい!と作戦を練るのだが…。

(岩波書店 本体600円)



誘拐された子犬たち!

『ダルメシアン』

ドデー・スミス著
熊谷 敏司訳

舞台はロンドン、ダルメシアンのボンゴとミセスの間に十五匹の子犬たちが誕生。ところが、喜びの生活は一気に暗転。誘拐された子犬たちの救出大冒険物語。

(文溪堂 本体1,800円)



オートバイにのって出発だ

『子ねずみラルフのぼうけん』

ベバリー・クリアラー作
谷口 由美子訳

おもちゃのオートバイをきっかけに、少年キースと友だちになったラルフ。ある日、熱を出して苦しむキースのために、薬をさがし出すラルフのぼうけんがはじまる。

(童話館出版 本体1,362円)



北欧神話の世界

『オーティンとのろわれた語り部』

スーザン・プライス作
当麻 ゆか訳

神オーティンののろいの力を借りるクヴェルドルフ。この邪悪な魔法使いに立ち向かう国一番の語り部「ネコのトード」が見つけた戦いの武器とは…。

(徳間書店 本体1,200円)



中学生におすすめ

一九三八年 オーストリア発

『空白の日記』

ケーテ・レヒアイス 作
松沢あさか 訳

十代の少女が書いたこの日記は次の世紀をむかえる今、決して忘れてはいけない記憶である。
すべては事実だったのだから。

(福音館 本体1,700円)



『記念写真』

『ここにもあるよ、青春！』

長原 啓子 作

節穴ムンクと対話する風海。全力投球、バタフライの広瀬。クッダラネが口癖の島辺。彼らは今日すれちがった中学生。
富山を舞台にした青春小説。

(ポプラ社 本体1,200円)



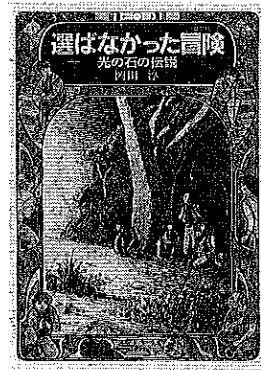
ほんとうの勇氣とは？

『選ばなかった冒険』

岡田 淳作

TVゲーム「光の石の伝説」の世界にワープした、学とあかり。はたして闇の王を倒して、光の石を手に入れ、もとの世界へ記憶をなくさずに帰れるのだろうか。

(偕成社 本体1,500円)



『福の神になった少年』

『福の神になった少年』

丘 修三 訳

今から百五十年位前に実在した人物の物語。知的障害があっても心が清らかな四郎さんは、私たちに大切な何かを伝えるために生まれた天使なのかも。

(佼正出版社 本体1,748円)



心の中の悪と戦った少年の話

『ぼくの心の闇の声』

ロバート・コーミア 作
原田 勝 訳

大人になっていくということは純粋な心を少しづつ見失っていくことなのだろうか？人間の心の中の悪と初めて直面した少年。がんばれ！

(徳間書店 本体1,200円)



少年たちと老人との心のふれあい

『夏の庭』

上田 真子 訳

「死」に対する好奇心だけで、ぼくらは老人を「観察」し始めた。おじいさんは不思議と元気になるていく。少年たちの観察の結果ははたして…。

(新潮文庫 本体400円)



「良書をすすめる会」のご案内

～ 親子でもっと本を読もう ～

本好きのPTA会員が、子どもたちに手渡したい良書についての学習会を重ねて、リーフレットを発行しています。

市民学習センター分室で、毎月第1土曜日9時半より活動しています。興味のある方は参加してみませんか？

良書をすすめる会委員

委員長	堀地はるみ(総曲輪小)	委員	大西裕美子(堀川小)
副委員長	田中 美弥(附属小)	村石 祐子(堀川小)	
	新屋 洋子(新庄小)	今井まり子(堀川小)	
	伊東 素子(市P連)	泉田 寿子(堀川小)	
	島田久美子(市P連)	堀 幸子(東部小)	
	山崎真理子(元市P連)	呉羽まゆみ(東部中)	
委員	江藤 裕子(山室中副小)	吉本 暁美(奥田中)	
	坂井 祐子(大泉中)	竹森 圭子(附属小)	
	村上 和恵(八人町小)	石倉 美子(三郷小)	
	山之上孝子(清水町小)	西野 久子(芝園中)	
	中村 純子(清水町小)	石川千佳子(呉羽中)	
	竹内 勤子(新庄小)	高野 知代(愛宕小)	
	西幸 尚子(藤ノ木小)	舟本 ござえ(附属)	

「赤ちゃん」と過ごしたひと夏

『自由研究「赤ちゃん」』

サラ・エリス 作
坂崎 麻子 訳

ジュシカは学校の自由研究のテーマを「赤ちゃん」に決めた。待ちに待った赤ちゃんの誕生。でも、悲しい悲しい出来事が起こる…。

(徳間書店 本体1,300円)



おどろくなるほど怖い森

『ヘラジカの森』

メアリ・カサノヴァ 作
高田 裕子 訳

父に認めてもらいたい。自分の力を試すため、セスは一人で密猟者に立ち向かってゆくが…。ミネソタの美しい自然と成長していくセスの姿が心にしみる。

(文溪堂 本体1,400円)



これぞ男の熱いロマン

『走れソラーカー』

中部 博著

世界最大のソーラーカーレースに挑む男達。レース中に起こる数々のアクシデントをいかに各々のチームは克服していくのか。思わず手に汗を。

(大日本図書 本体1,359円)



うーん、不思議なヤツ

『切っても切ってもプラナリア』

阿形 清和文

体を切られても、死ぬどころか、どれも同じ体になり増えてしまうプラナリア。どうして？是非この本を読んで飼ってみては。

(岩波書店 本体1,500円)



子育てってたいへんです

『ムクドリの子育て日記』

河本 祥子作

ムクドリの子育てのたんじょうから、巣立ちまで、かわいいイラストで書かれている。子育てのたいへんさとユニークさと。子どもから大人まで楽しめる本。

(福音館書店 本体1,300円)



パンはどうしてふくらむの

『小麦 ふくらんでパン』

中西 敏夫文

パンはいつから食べているの？イースト菌ってなあに？知っているようで知らなかったパンの不思議をのぞいてみよう。

(福音館書店 本体1,300円)



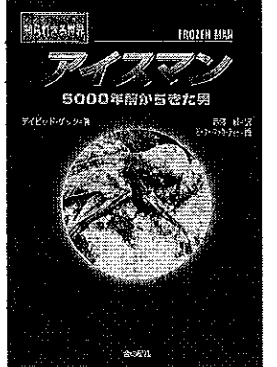
5000年前から来た男

『アイスマン』

デイビット・ゲッツ作

一九九一年、その死体はアルプス山中の氷河の中で発見された。最初は警察が身元確認に動き出し、やがて科学者の仕事になる。彼はいったい何者なのか。

(金の星社 本体1,200円)



仕事に ほごりを持つ

『こちらナースステーション』

井部 俊子文

病んでいる人の心と体をケアしていく看護婦さん。実際の仕事内容や苦勞、そして喜びが伝わってくる。こんな仕事ができたらなあ。

(ポプラ社 本体980円)



おすすめの本カード

あなたが友だちにすすめたい本はみつかった？かんそう*しようかい*イラストなんでもかいていいよ

書名
[本のなまえ]

作者
[かいた人]

— 感想 —

小・中 学校

年 なまえ

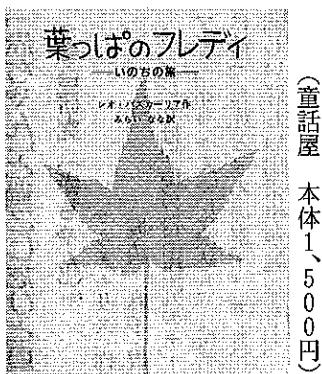
生きるって？

『葉っぱのフレディ いのちの旅』

レオ・バスカーリア作

忙しすぎる日々の中で、ふと立ち止まって考えてみると空しくなる。そんな時、この本は君を大らかな気分へと誘ってくれる。

(童話屋 本体1,500円)



みんなのまちがお話

『富山の童話』

日本児童文学者協会編

呉羽のナシ、魚津のしんきろう、砺波のカイニョウなど、富山のお話や詩がいっぱい。今まで知らなかった新しい私たちのまちが発見できる。

(リブリオ出版 本体1,700円)

